

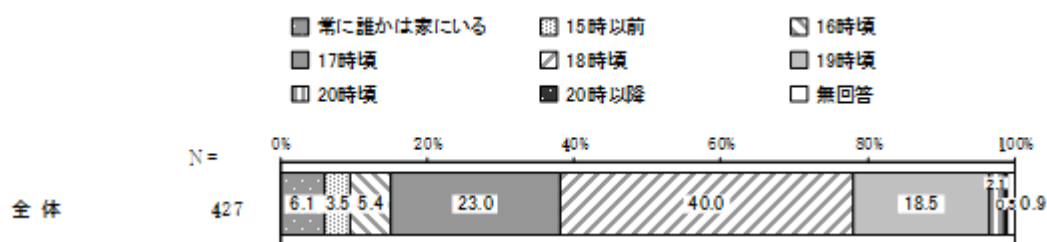
「(仮称) 千葉市放課後子どもプラン」の策定について

1 未就学児保護者と小学生保護者の帰宅時刻について

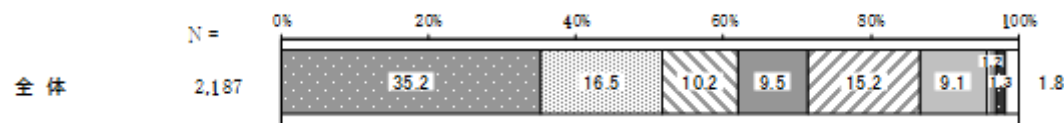
(1) 現在のご家庭の状況について

Q 1 保護者がお仕事等から家に帰ってくるのは何時頃ですか。
(あてはまる番号1つに○)

① 未就学児保護者



② 小学生保護者



未就学児保護者は、子どもを保育所に預けている家庭を対象にアンケートをお願いしているため、「共働き」の家庭が多いと推察される。

そのため仕事を終えて帰宅することが予想される「18 時頃」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「17 時」の 23.0%、「19 時」の 18.5%の順となっている。

小学生保護者は、「常に誰かは家にいる」の割合が最も高く、35.2%となっている。次いで「15 時以前」が 16.5%であり、合わせると 51.7%となるため約半数の家庭の保護者は、子どもが学校から帰宅する「15 時頃」には在宅していることがわかる。

また「17 時頃」までには在宅している家庭の割合を合わせると、71.4%となり、残りの 28.6%の家庭が仕事等により、「18 時頃」までは留守になることがわかる。そのため、「17 時」以降の預かりが必要な割合は、全体の 30%弱となる。

「19 時頃」までには在宅している家庭が 95.7%となるため、ほとんどの家庭は「19 時」までの預かりで対応できることがわかる。



・利用者のニーズに合わせた利用時間の設定

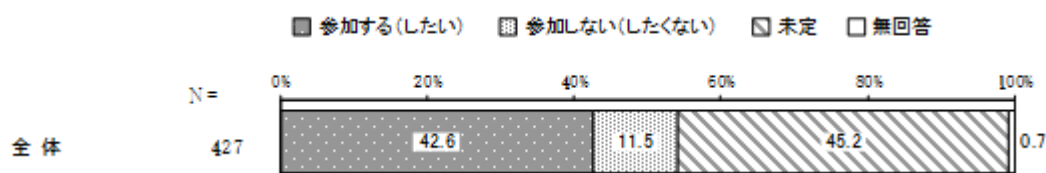
2 放課後子ども教室への参加について

Q3 【未就学児保護者】 お子様は放課後子ども教室に参加する予定ですか。

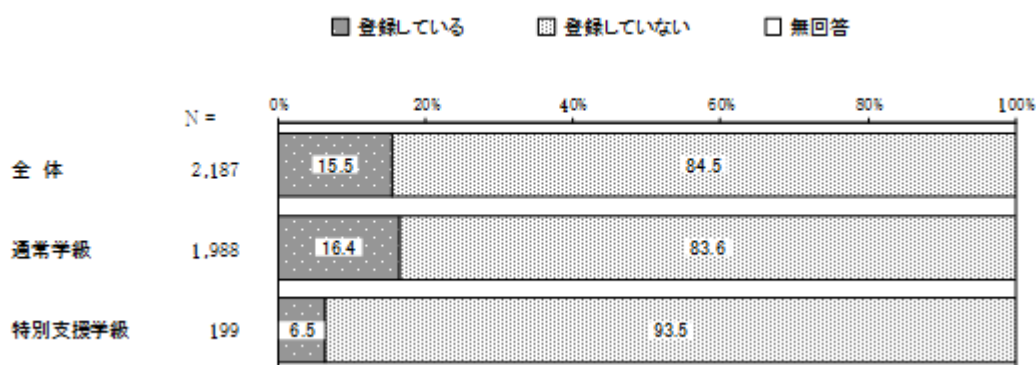
Q3 【小学生保護者】 お子様は放課後子ども教室に登録していますか。

(あてはまる番号1つに○)

① 未就学児保護者



② 小学生保護者



未就学児保護者の42.6%は、入学前から「小学生になったら放課後子ども教室に参加させたい」という積極的な考えを持たれていることがわかる。

就学児保護者の約半数に近い45.2%が「未定」と回答しているのは、まだ入学前のため、「放課後子ども教室」についての情報が不足し、活動内容を理解していないために判断を保留していると考えられる。

小学生の保護者では、全体の15.5%の児童のみが放課後子ども教室に参加しているにとどまっている。これは学校より毎月提出していただいている活動報告書の参加者の実数値とも近い数字である。



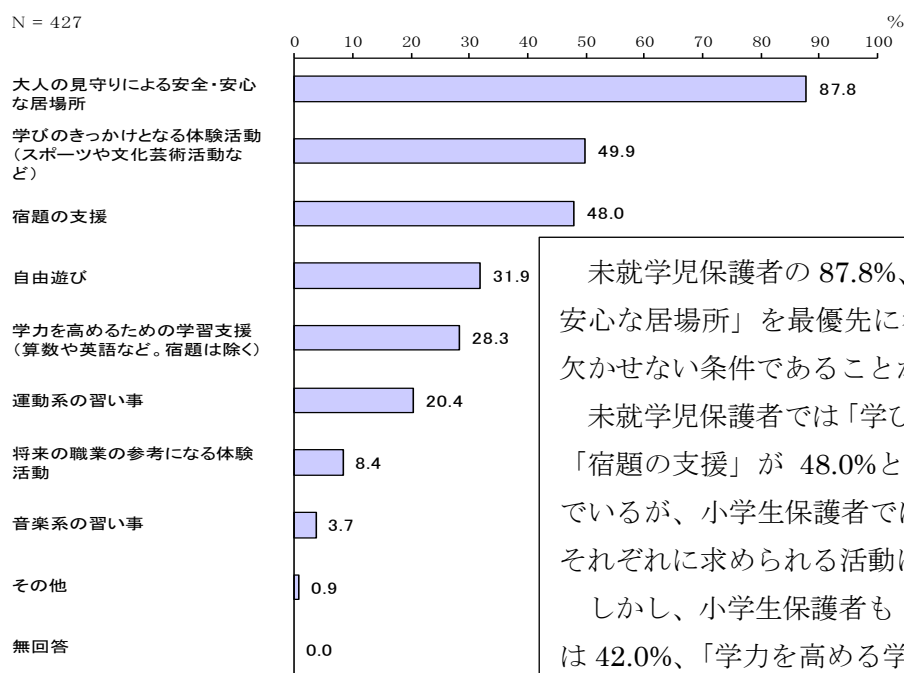
- ・放課後子ども教室のPRや周知の充実
- ・参加を促す魅力的な運営
- ・希望するすべての児童が参加しやすい放課後子ども教室（登録条件の見直し等）

3 お子様の放課後について

Q 4 お子様の放課後に必要と思うものは次のうちどれですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

① 未就学児保護者

N = 427



未就学児保護者の 87.8%、小学生保護者の 69.3%が「安全・安心な居場所」を最優先に考えており、これは大前提として欠かせない条件であることがわかる。

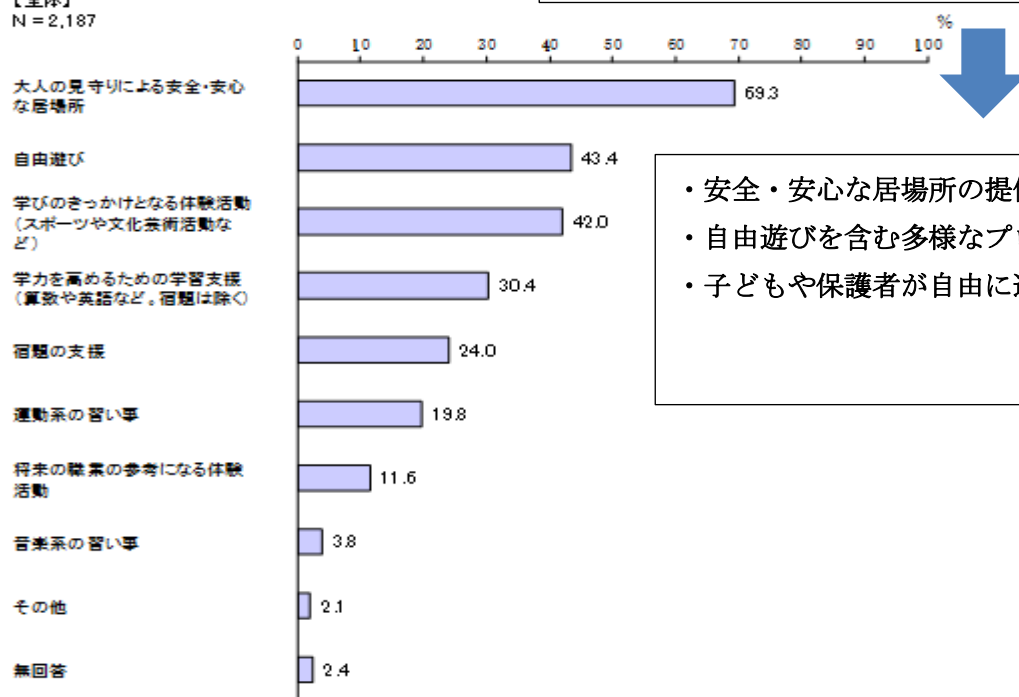
未就学児保護者では「学びのきっかけの体験活動」が 49.9% 「宿題の支援」が 48.0%と、よりプログラム的な内容を望んでいるが、小学生保護者では「自由遊び」が 43.3%となり、それぞれに求められる活動に差があることがわかる。

しかし、小学生保護者も「学びのきっかけとなる体験活動」は 42.0%、「学力を高める学習支援」は 30.4%と「自由遊び」に次ぐ高い数値となっているため、未就学児保護者と同様にプログラムへの期待の高さを感じられる。

② 小学生保護者

【全体】

N = 2,187

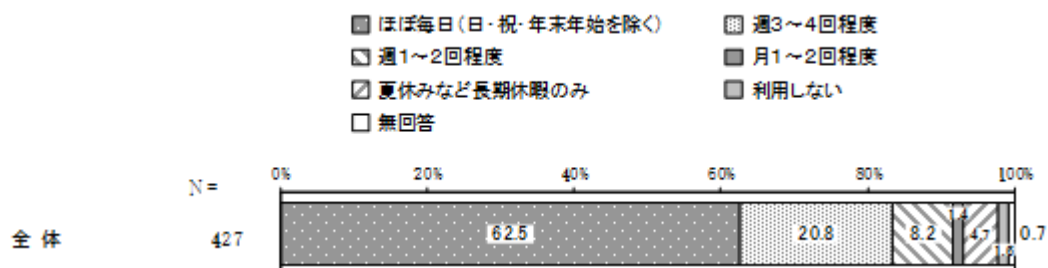


- ・安全・安心な居場所の提供
- ・自由遊びを含む多様なプログラムの提供
- ・子どもや保護者が自由に選択できる放課後

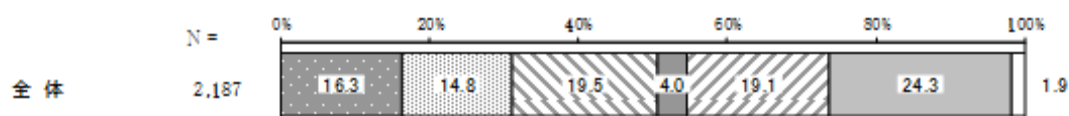
4 放課後子ども教室・子どもルーム一体的な運営について

Q4-1 お子様の小学校で放課後子ども教室・子どもルームの一体的な運営が行われるとしたら、利用を希望する頻度は次のうちどれですか。
(あてはまる番号1つに○)

① 未就学児保護者



② 小学生保護者



未就学児保護者の62.5%は「ほぼ毎日(日祝年末年始を除く)」、20.8%が「週に3~4回」を希望しており、合わせると83.3%の保護者が一体的な運営が行われたら参加を希望したいと答えており、本事業への期待とニーズの高さがうかがえる。

また、「利用しない」と「未定」を除いた場合、残りの97.8%の保護者は「一体型」の運営が行われた場合は、利用回数に差はあるが、何らかの形態で参加したいと考えている。

小学生保護者では、16.3%が「ほぼ毎日(日祝年末年始を除く)」、14.8%が「週に3~4回」を希望しており、合わせて31.1%児童が、高い頻度での利用を希望する事がわかる。

また、「週に1~2回程度」が19.5%「月に1~2回程度」が4.0%「夏休みなどの長期休暇のみ」が19.1%と、何らかの形態で利用を考えている保護者を合わせると73.7%となり、利用回数に差はあるが、小学生のほぼ4人のうち3人の利用が見込まれる。

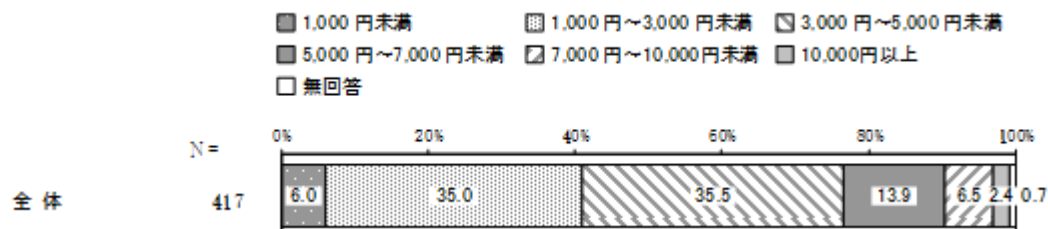


- ・放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業の拡充の検討
- ・ニーズに合った利用方法の確立(長期休業期間のみ等)

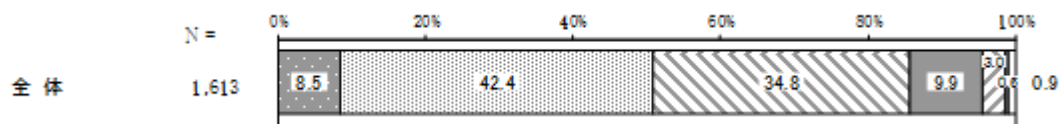
5 継続的なプログラムの費用について

Q4-3 お子様の小学校で、放課後に企業等による塾・習い事のような継続的なプログラム（週1回程度）が導入され、これに参加するとしたら、負担できる費用（月額）はいくらくらいですか。（あてはまる番号1つに○）

① 未就学児保護者



② 小学生保護者



未就学児保護者では、「1,000円未満」が6.0%、「1,000円～3,000円未満」が35.0%で、合わせると「3,000円未満」までが41%となった。小学生保護者では「1,000円未満」が8.5%、「1,000円～3,000円未満」が42.4%となり、合わせると「3,000円未満」が50.9%となった。

費用が「5,000円以上」になると、参加させたいと考える保護者の割合は、未就学児保護者で22.8%、小学生保護者が13.4%となっている。このことにより、費用が「5,000円」を超えてしまうと、参加者がかなり少なくなることが予想される。



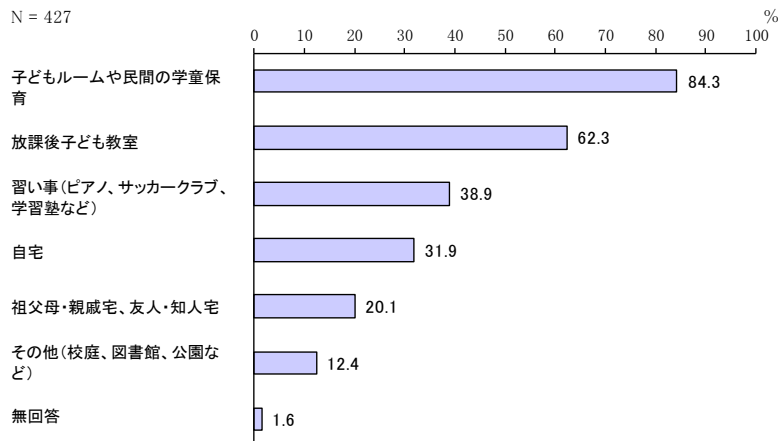
・経済的に参加しやすいプログラムの価格設定

6 放課後の過ごし方について

Q5 お子さんが小学校に入学した後、放課後の時間をどんな場所で過ごさせたいですか。
(低学年、高学年のそれぞれ3つまでに○)

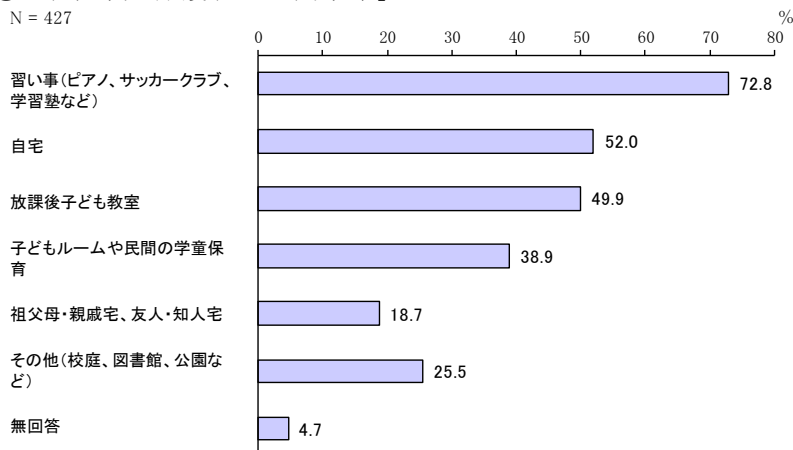
① 未就学児保護者 「低学年」の過ごし方

N = 427



② 未就学児保護者 「高学年」の過ごし方

N = 427



未就学児の保護者では、低学年のうち「子どもルームや民間の学童保育」が84.3%と最も高く、次いで「放課後子ども教室」が62.3%となっている。どちらも「大人の見守りによる安全・安心な子どもの居場所」であることが共通している条件である。

次に「習い事」が38.9%となり、放課後は「遊び」以外の何らかの体験プログラムを習わせたいというニーズがあることもわかる。

高学年になると「習い事」が72.8%と最も高くなり、「大人の見守り」よりも、「勉強やスポーツ、音楽等」を習い、学力や体験などのプログラムを重視する保護者が増えてくることがわかる。

また、高学年では「放課後子ども教室」が48.9%で「子どもルーム」の38.9%を上回る結果となっている。その他の「公共施設」を使った活動も25.5%に増え、自宅以外で有意義に過ごせる公的な場所を求めていることもわかる。

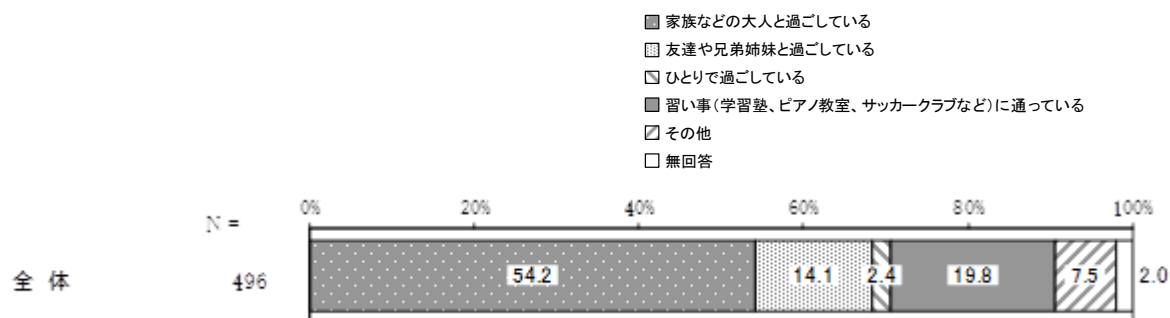


- ・子どもの発達段階に応じた事業展開
- ・特に高学年にふさわしいプログラム提供

Q2で「1. 「利用している」と回答した方に質問します。

Q2-1 子どもルームを利用しない日はどのように過ごしていますか。主な過ごし方を2つまで順位をつけて□に番号を記入してください。

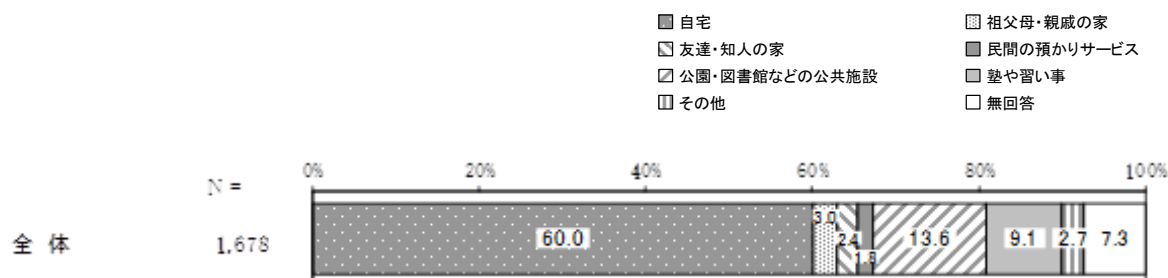
① 小学生保護者



Q2で「2. 利用していない」と回答した方に質問します。

Q2-2 お子様は、放課後は主にどこで過ごしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

① 小学生保護者



「子どもルーム利用している子」と「利用していない子」を比較した結果、顕著な違いが表れたのは、ルーム利用者では「習い事」が19.8%と高く、ルームに行かない日には体験や学習などのプログラムに通っていることがわかる。

「ルームを利用していない子」は、公共施設が13.6%と高く、公園や図書館などの近くの公共施設を利用し、運動をしたり読書をしたりして過ごしていることがわかる。



・放課後の子どもの活動場所としての公共施設のさらなる活用

7 小学生のアンケート結果からわかる放課後の過ごし方について

問2 放課後はどのように過ごしていますか、また過ごしたいですか。次の(ア)～(シ)から、それぞれ選んで○をつけてください。(○はいくつでも)

(1) 小学生の放課後の過ごし方の現実と希望

| 項目 | 差 | | 現実 | | 希望 | |
|--------------------|----|--------|----|------|----|------|
| | 順位 | % | 順位 | % | 順位 | % |
| 塾や習い事に行く | 1 | 47.2 | 3 | 66.4 | 9 | 19.2 |
| 家で過ごす | 2 | 47.1 | 2 | 68.3 | 7 | 21.2 |
| 勉強する | 3 | 43.3 | 5 | 60.3 | 10 | 17.0 |
| テレビを見たり、音楽を聞く | 4 | 35.6 | 4 | 60.4 | 5 | 24.8 |
| 友達と遊ぶ | 5 | 24.4 | 1 | 68.4 | 1 | 44.0 |
| ゲームをして遊ぶ(アプリを含む) | 6 | 24.2 | 6 | 53.4 | 3 | 29.2 |
| 本やマンガを読む | 7 | 24.1 | 8 | 45.1 | 8 | 21.0 |
| 一人で遊ぶ | 8 | 20.5 | 9 | 30.3 | 12 | 9.8 |
| 公園や広場に行く | 9 | 17.0 | 7 | 49.9 | 2 | 32.9 |
| 子どもルーム・放課後子ども教室に行く | 10 | 9.6 | 11 | 23.1 | 11 | 13.5 |
| 体を休める、寝る | 11 | 4.3 | 10 | 29.4 | 4 | 25.1 |
| 公民館や図書館で過ごす | 12 | ▲ 17.4 | 12 | 5.5 | 6 | 22.9 |

小学生の「希望と現実」で差が40%以上生じているのは次の3点である。

「塾や習い事に行く」が希望では19.2%に対し、現実には66.4%であり、その差が47.2%ある。

「家で過ごす」は希望では21.2%に対し、現実には68.3%であり、その差が47.1%ある。

「勉強する」は、希望が17.0%に対し、現実には60.3%であり、その差が43.3%ある。

約6～7割の子どもは、塾や習い事などで勉強をしたり、自宅で過ごしたりすることを希望してはいるが、現実ではそのように過ごしていることがわかる。

また、「子どもルーム・放課後子ども教室に行く」が希望では13.5%に対し、現実では23.1%となっており、希望よりも現実が9.6%上回っている。このことから現在の「子どもルームや放課後子ども教室」は、子どもが希望するものと現実がマッチしていない可能性が考えられ、「あまり行きたくないが、仕方なく行っている子」が少なからずいることがわかる。

なお唯一、希望が現実より上回っているのは「公民館や図書館で過ごす」である。希望は22.9%あるが、現実では5.5%であり、差が17.4%となっている。児童の一定数は放課後に「公民館や図書館で過ごしたい」という希望を持っているが、実際には何らかの理由で行かずに過ごしていることがわかる。



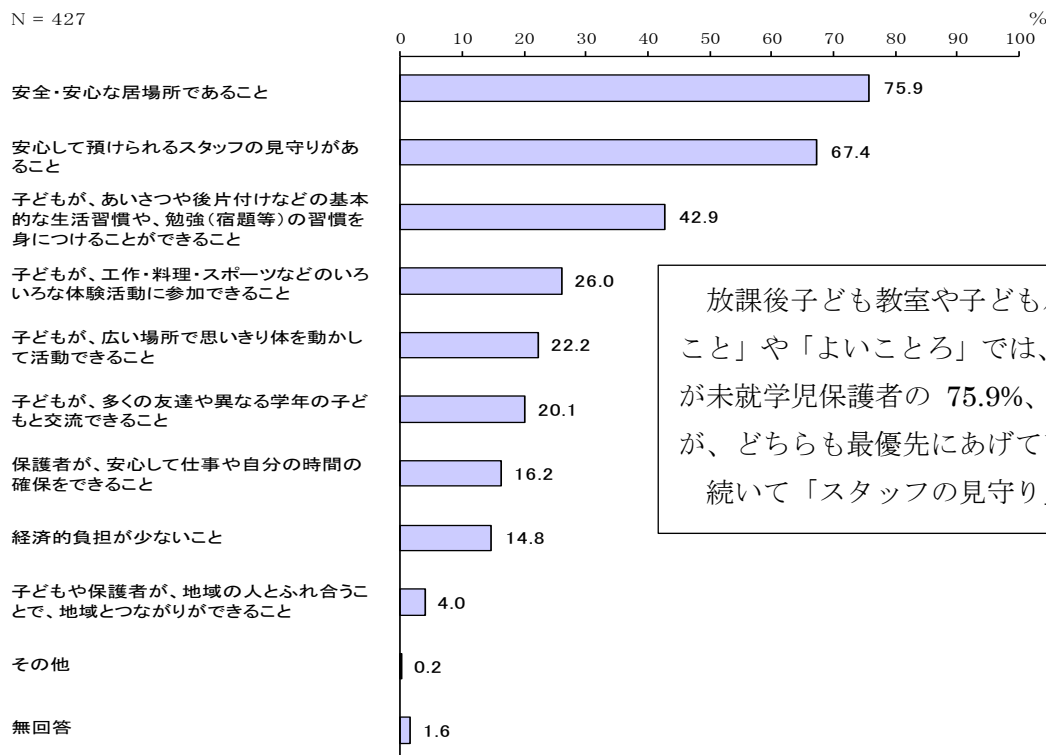
- ・子どもが希望して参加する子どもルーム・放課後子ども教室
- ・子どもをひきつける魅力のある公民館・図書館などの公共施設

8 放課後子ども教室や子どもルームに期待することやよいところについて

Q6 放課後子ども教室や子どもルームに期待することは何ですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

① 未就学児保護者

N = 427



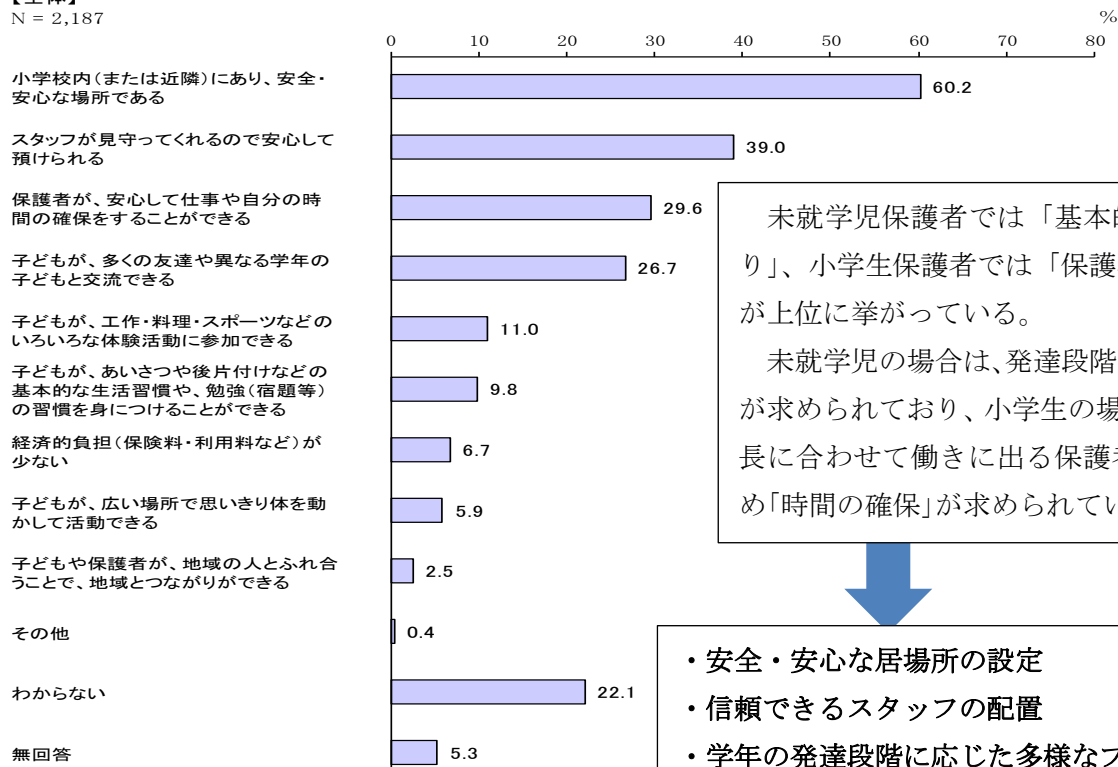
放課後子ども教室や子どもルームに「期待していること」や「よいところ」では、「安全・安心な居場所」が未就学児保護者の75.9%、小学生保護者の60.2%が、どちらも最優先にあげていることがわかる。続いて「スタッフの見守り」に関する項目が続く。

Q5-1 放課後子ども教室や子どもルームのよいところは何ですか
(あてはまる番号3つまでに○)

① 小学生保護者

【全体】

N = 2,187



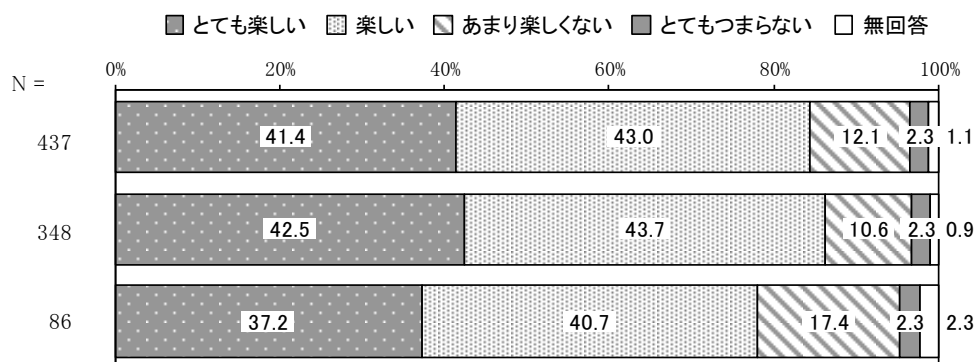
未就学児保護者では「基本的な生活習慣づくり」、小学生保護者では「保護者の時間の確保」が上位に挙がっている。
未就学児の場合は、発達段階に応じた「しつけ」が求められており、小学生の場合は、子どもの成長に合わせて働きに出る保護者も増えてくるため「時間の確保」が求められていることがわかる。

- ・安全・安心な居場所の設定
- ・信頼できるスタッフの配置
- ・学年の発達段階に応じた多様なプログラムの提供

9 子どもルーム・放課後子ども教室の問題点について

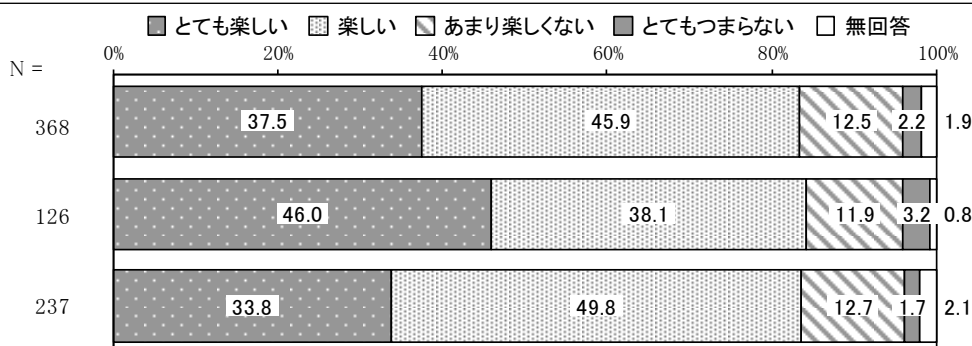
問3-1 子どもルームは楽しいですか。(〇は1つ)

①小学生



問4-1 放課後子ども教室は楽しいですか。(〇は1つ)

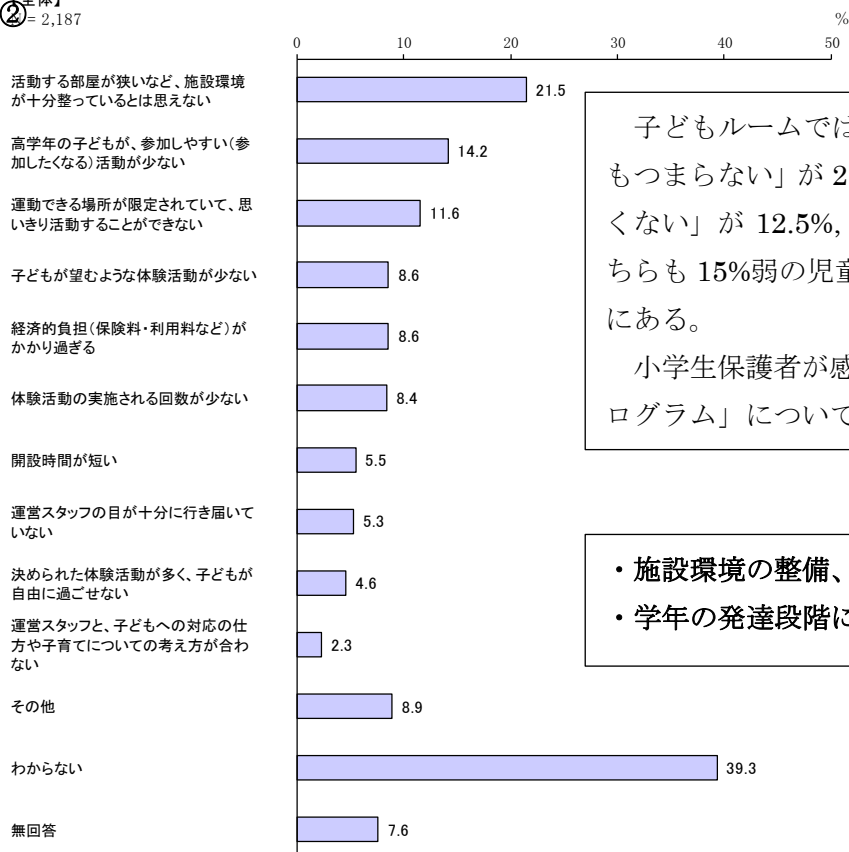
①小学生



Q5-2 放課後子ども教室や子どもルームの問題点は何ですか。(あてはまる番号3つまでに〇)

① 学生保護者

②【全体】
N=2,187



子どもルームでは「あまり楽しくない」が12.1%、「とてもつまらない」が2.3%。放課後子ども教室では「あまり楽しくない」が12.5%、「とてもつまらない」が2.2%である。どちらも15%弱の児童にとっては、満足が得られていない状況にある。

小学生保護者が感じている「問題点」からは、「施設」や「プログラム」についての不満が上位に挙がっている。



- ・施設環境の整備、既存施設の活用
- ・学年の発達段階に応じた多様なプログラムの提供